



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 25-11

6月号

発行 2023年6月15日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎
副会長 松川 厚子
会計 吉田 公代
書記 吉野 勝三郎

クラブ会長主題「温故知人」「明日に向かって新しい出会いを！」

国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

主題“Let Your Light Shine“

(輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen(台湾)

主題“Elegantly Change with New Era”

(新しい時代とともに、エレガントに変化を)

東日本区理事 佐藤重良 (甲府 21)

主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」

関東東部部長 工藤大丈(ベイサイド)

主題「新規技術(テクノロジー)を縦横に 駆使し、効率を重んじる。

すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」「成せば、成る」

“No challenge, No fruit”

6月の聖句

五旬祭の日が来て、皆が同じ場所に集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から起こり、彼らが座っていた家中に響いた。

そして、炎のような舌が分かかれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。

すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、他国の言葉で話した。

(使徒言行録 2章 1～4節)

Now when the day of Pentecost had come, they were all with one accord in one place.

Suddenly there came from the sky a sound like the rushing of a mighty wind, and it filled all the house where they were sitting.

Tongues like fire appeared and were distributed to them, and one sat on each of them.

They were all filled with the Holy Spirit, and began to speak with other languages, as the Spirit gave them the ability to speak.

(Acts 2:1~4)

巻頭言

「言語の障害、それを超えて」

山本剛史郎

言語の障害というものを私はいつも感じています。フランシスコ・ザビエルは 1549 年、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師として有名ですが、未知の国、日本に伝道するにはいろいろと問題があったと思います。その中でも言語(言葉)の障害というのはとても大きな問題だったと思います。その一つに唯一絶対神である究極の存在をどのように日本語にするのか、ずいぶん苦労したようです。最初は「大日」と訳して宣教していたのですが、仏教の大日如来と混同されて新しい仏教を伝えにきたのだと思われ、次にラテン語の Deus を「ダイウス」としたり、幕末明治期に大浦、浦上の建てた教会の名前にもなっているように「天主」と訳したりして、紆余曲折の後、現在の「神」に落ち着いたようです。

キリスト教という宗教による大きな功績の一つは聖書の翻訳があげられると思います。ヒエロニムスによるラテン語への翻訳、宗教改革者マルティン・ルターによるドイツ語への翻訳、そして日本語にも様々な翻訳がされています。一見、普通のことのように思えますが、仏教におけるお経、イスラム教によるクルアーン(コーラン)など翻訳はされていますが公式の宗教施設、寺やモスクでは現代日本語ではない言語が使われています。この二つはまだ外国の宗教ですが、日本古来の神道でさえ祝詞も「高天原に神留り坐す 皇

5月統計(5月27日)

出席者 7名 出席率 78%

親神漏岐 神漏美命以て」と現代日本語とはかけ離れた言葉でお祈りします。その意味では聖書はあらゆる言語に翻訳し、その改定版を何度もだしているのは本当にユニークな特徴です。

最後に、私はフランシスコ・ザビエルに会ったことがあります。そこの話は次回にまわしたいと思います。

2023年6月 例会プログラム(予告・予定)

日 時：2023年6月24日(土) 14:00~16:00

場 所：埼玉 YMCA 川越センター

内 容：次年度の計画・予算についての話し合い

5月例会報告

5月例会は、特別な企画はなく、クラブの今後の活動方針や役員構成などを中心に話し合う会合となりました。

主要事項をお知らせします。

1. 今年度のクラブ会費
年間 40,000 円に決まりました。
2. 2024-2025 年度川越クラブ役員
会長 利根川太郎
書記 吉野勝三郎
会計 吉田公代
3. 2024-2025 年度関東東部キャビネット
部長 山本剛史郎
書記 衣笠輝夫
会計 (未定)
4. 次年度予算(案)
別紙により承認
クラブ本会計と芋ファンドの支出を整理する。
5. 川越クラブ25周年記念
2023年11月25日(土)の例会を25周年記念会として開催する方向で、今後その詳細を煮詰めることにした。
6. 6月3日・4日の第26回東日本区大会
主催者から物品販売の許可を得たので、“芋菓子”と“森のコーヒー”販売を行うことにした。
7. 国際関連行事
 - ・アジア・太平洋地域大会
11月3日(金)~5日(日) 香港
早期登録特別割引が7月末まで延期された。
利根川恵子メンが主催者となる大会であることから、川越クラブからの多くの参加者が起こされることが期待されています。
 - ・AYC(アジア・太平洋地区ユースコンボケーション)
ネパールで開催予定のこのイベントに、阿部真琴リーダーが参加を希望し、所沢クラブが推薦予定のことから、川越クラブとしても彼女を推薦し、応分の資金援助を行うことにした。
8. 埼玉YMCAフェスティバル
今年は9月23日(休・土)に所沢センターで開催予定のため、川越クラブは「古書再読」他で、今後詳細を煮詰めることにした。

9. アースデイ in 川越

今年も10月1日(日)開催予定で準備会が発足したので、川越クラブは「古書再読」他の展示で参加することにした。今年は、寄贈されたテントを活用する予定。

10. その他

- ・10月28日(土) 船橋市で開催される予定の関東東部大会の参加予定者の確認
- ・12月16日(土) クリスマス例会

以上

東日本区大会報告

山本 剛史郎

2023年6月3日(土)~4日(日)、山梨県甲府市のAPIO甲府において第26回東日本区大会が行われました。コロナの影響もあり4年ぶりの対面での東日本区大会となりました。川越クラブからは(敬称略)生川美樹、利根川恵子、利根川太郎、山崎純子、吉田公代、山本剛史郎の6名が参加し、全体では300名弱の参加でしたが久しぶりの対面での大会ということで盛会となりました。

私は3日(土)11:00からの代議員会に出席しました。午後からオープニング、バナーセレモニー、開会式と続きました。そして、石丸謙二郎氏による記念講演が行われました。話は軽快な話で、山登り、水墨画、作家としてなど多岐にわたりましたが、あっという間に時間が過ぎました。その合間に、物販として川越名物・芋菓子、Y・森のコーヒーなどを売りましたが、コーヒー(豆)以外はすべて売ってしまいました。まあ、私は他の物販でいろいろと買い込んでしまいましたが……。



晩餐会は予定通りに始まり、甲府21クラブのメンバーでもあるソプラノ歌手の歌で始まった。その後も挨拶やらがあり乾杯までの時間がちょっと長かったかな。それはともかく今回は交流の意味もあり、川越クラブもみんなバラバラの席でしたが、やはり東日本区大会になると全国各地から知り合いが来ており、本当に良い交流の場になったと思います。私は為我井さん(東京町田スマイリングクラブ)と同じテーブルになりました。為我井さんはアメリカ・セーラム、フィリピン・パンガシナンとも縁があり、川越クラブ例会にもzoomにて何度か参加していただきました。



今回は大会の前日、6月2日に大変な雨で、その影響で来ることができなかつた方もいたと思いますが、大会そのものは甲府 21 クラブの大会スタッフの皆様が微に入り細を穿つ運営でとても素晴らしい大会でした。来年は十勝です。ぜひ、参加したいと思います。

国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

「新しいワイズソング」

次期アジア太平洋地域会長／国際議員 利根川恵子

ワイズメンズクラブ国際協会設立 100 周年記念事業として、アジア太平洋地域では3つのプロジェクトを実施しましたが、その一つがソングブックの作成でした。埼玉クラブの浅羽俊一郎会長が委員長となり、3月の台北での100周年記念祝賀行事参加者に配布されました。

ソングブックの構成は、1章：これまでのワイズソングと新しく作られたワイズソングおよび存在していても歌われなくなったワイズソング、第2章：ワイズメンバーが作詞作曲にかかわっている歌（この中にDBC 北九州クラブ・宮崎詩麻さんの「きみへ」が収められています。）第3章：アジア太平洋地域各国の代表的な歌、第4章：世界各国のよく歌われる歌、となっています。

国際協会は、ベートーベンの「喜びの歌」の旋律に新しい詩を付けて“A Better Place”というタイトルで100周年記念の歌としました。歌詞はソングブックの9ページにあり、5番までありますが、誌面の関係で1番だけ掲載いたします。歌ってみてください。

新しいワイズソングも、オリジナルから替え歌までいろいろあり、興味をそそられます。イタリア民謡「フニクリ・フニクラ」の替え歌“The Y’s Way”は、浅羽会長が詩を書かれました。

また、フィリピン・マニラダウンタウンクラブのロメオ・リムジンさんは何曲もオリジナルを提供してくださいましたが、なかでも“Y’s Men With the World”は、アップテンポで歌いやすく、気分も高揚する歌となっています。YouTube にビデオがアップされていますのでご覧になってください。

[Y’s Men with the World - YouTube](#)

先日の東日本区大会の晩餐会でも、「A Better Place」と「Y’s Men With the World」をみなで合唱し、盛り上がりました。

今後、例会で山崎純子ワイズの歌唱指導のもと、新しいワイズソングに挑戦してみるのも楽しいのではないのでしょうか。

A Better Place

1. How do we dare?
Where should we share?
Why could we care? – YMI!
Are we daring,
Are we sharing,
Are we caring. – Why am I?
Y’s Men daring,
Sharing, caring,
When the world around we face,
Helping others,
Sisters, brothers,
Make the world a better place!

YMCA報告

河合今日子

<創立50周年記念プログラム：幼児・小学生の英会話に参加しませんか？>

川越センターでは、埼玉YMCA 創立50周年企画として、年少児～小学6年生までを対象に何度でも通えるワンコインレッスンを開講しました（期間：5/18～7/21）。添付にてご確認ください。

お申込みは下記フォームまたはセンターで受付しております。

小学生申込フォーム

<https://forms.gle/hEQVBPalec54m8497>

幼児申込フォーム

<https://forms.gle/m73v573DEzNaeAAQ6>

ご兄弟やお知り合いの方等いらっしゃいましたらぜひご案内ください。

なお、成人クラスも開講しています。ご参加お待ちしております。

<YMCA 卒業生の居場所>

「YMCA を離れてみて、自分にとって大切な場所だったことに気づきました」「YMCAに通っていたおかげで、電話ができるようになりました」-これは、昨年3月にYMCAを卒業したメンバーのことばです。

YMCAに通うきっかけはそれぞれですが、コミュニケーションが苦手だったり、不登校であったり、生きにくさが原因であることが多くあります。

この“ことば”を聞き、嬉しい反面、YMCAに通わなくなったら、「大丈夫なのかな」と心配になります。

*放課後等デイサービス（6歳から18歳まで）

*公的サービスが終了

というのも、「就職・進学」してからこそ困難さがでてくることも少なくないからです。現に、発達障害と

診断された方の仕事の継続年数は平均3年。このデータから、仕事を続けにくいことが読み取れます。

そこで、YMCAでは卒業生にも「居場所を」、「よくなっほしい」という願いを込め、月に1回「アップ」という活動を実施しています。

参加だけでなく、電話で様子を聞き、悩みを聞く場も設けています。現在在籍者は32名。今後も「YMCAは一生の応援団」を合言葉に関わっていきたいと思います。

(木下遥七)

<11月23日(木・祝)、埼玉YMCAフェスティバル3年ぶりに開催決定!>

これまでコロナ禍で開催ができなかったYMCAフェスティバルを開催します。フェスティバル担当者の木下さん(川越)、深田さん(所沢)が担当となります。

6月中には第一報でお知らせしますが、同日に会員大会も行う予定ですので、ご予約のほどよろしく願いいたします。

(編集後記)

2022-2023年度最後の「希望の鐘」が発行できました。忙しい中、貴重な原稿をお寄せ下さった方々に感謝します。私が入院した関係で、今年度は11回の発行になってしまいましたが、次年度も引き続き書記を務めることになりましたので、次年度は12回発行できるよう努力します。引き続きご協力をお願いします。

早速、「歓喜の歌」に乗せた、[Y's Men with the World](#)をYouTubeで見て聞きました。皆さんの喜びながら歌っているのが印象的でした。川越クラブでもぜひ歌いましょう。

埼玉YMCAは、所沢センターが拡張されて、子育て子育てセンターの活動が開始しました。コロナ禍で開催できなかった埼玉YMCAフェスティバルが、今年は開催予定です。

このような明るいニュースの中で、ロシアとウクライナの戦争が気がかりです。一日も早い停戦を祈ります。

(K. Y.)